

新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）事案の発生について
（医療法人せいわ会 ならまちリハビリテーション病院 第2報（最終報））

医療法人せいわ会 ならまちリハビリテーション病院の1つの入院病棟において、新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）事案が発生し、濃厚接触者等に対して健康観察を行ってきましたが、当該期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていないことから当該院内感染（クラスター）事案は終結しました。

1 発生場所

医療法人せいわ会 ならまちリハビリテーション病院
（所在地 奈良市杉ヶ町57-1）

2 感染者の概要

(1) 経緯

7月30日、病院内の1つの入院病棟に入院している入院患者1人が発熱し、検査したところ感染が判明しました。当該入院病棟の職員及び入院患者を対象に検査した結果、入院患者18人（初発感染者1人を含む）及び職員18人の計36人の感染を認めました。

(2) 感染者（計36人）

ア 入院患者18人（市内15人、市外3人）

【内訳】

性別：男性9人、女性9人

年代：40代1人、60代3人、70代6人、80代6人、90代2人

イ 職員18人（市内12人、市外6人）

【内訳】

性別：男性5人、女性13人

職種：看護職員7人、看護補助者3人、医療技術者8人

年代：20代9人、30代4人、40代4人、50代1人

3 病院の対応

- ・ 7月30日～
 - ・ 当該入院病棟の消毒を実施。
 - ・ 当該入院病棟の入院患者及び職員に検査を実施。
 - ・ 感染予防策の強化、徹底。
 - ・ 当該入院病棟の新規入院を中止。
- ・ 8月26日～
 - ・ 当該入院病棟の通常の病院機能を再開。

4 市の対応

逐次聞き取り調査を行い、感染状況及びその対応策を協議しました。

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、特段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。